

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
 代 表 者 名 代表取締役社長 富士本 淳
 (東証スタンダード・コード 6425)
 問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 竹内 東司
 電 話 番 号 03-5530-3055 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月14日に公表しました「2021年12月期決算短信〔日本基準〕連結」において未定としておりました2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の通期連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	139,000	11,000	19,000	9,500	122.61
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	90,435	1,959	△2,508	△19,052	△245.88

(公表の理由)

当社は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な感染拡大による影響から、2022年12月期の通期連結業績予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定しましたので公表いたします。

遊技機事業においては、パチスロ・パチンコ機ともに販売台数は順調に推移しており、通期の販売台数は約15万台を見込んでおります。また、統合型リゾート(IR)事業においては、不法なグループによるオカダ・マニラの施設占拠があったものの、2022年9月5日付「(開示事項の経過)オカダ・マニラの施設及び運営奪還に関するお知らせ」に記載のとおり、オカダ・マニラの施設を奪還し、当該施設の運営体制は正常化しつつあります。すでにタワーB完成に伴い全993室が稼働可能な状態にある中で、来場者数は2022年4月以降着実に増加しており、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)以前の2019年度の水準まで回復しつつあり、売上高は堅調な回復傾向にあります。

しかしながら、フィリピン共和国最高裁判所の「原状回復命令」の対応や上述の施設の奪還に関する諸費用(販売費及び一般管理費(訴訟費用、広告宣伝費等))の相当額を見込んでおります。さらに、為替相場の変動による為替差益の計上及び上述した諸費用の他にオカダ・マニラの占拠期間中に生じた特別損失約16億円等を見込んでおります。

かかる状況下で、売上高の増加に比して営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の増加が緩やかなのは上述した諸費用や特別損失等を負担しているためであります。以上の結果、今般、通期連結業績予想を公表することといたしました。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上